

2020年07月05日 CS 中高科奨励原稿

ヨハネによる福音書 15章 26節「三位一体の神 ——イエス様を知る」

皆さん、おはようございます。

今朝の聖書箇所は、いわゆる「最後の晩餐」の場面のひとつです。この後、イエス様は十二弟子のひとりであるイスカリオテのユダの裏切りにより、ユダヤ教の律法学者やファリサイ派の人々に捕らえられ、弟子達と離れ離れになりますが、それを目前にして、イエス様は弟子達と過越祭の食事をしながら最後のメッセージを語ります。一度聞いただけだと小難しいことが延々語られていますが、すなわち、「私イエスに結ばれた救いの喜びを人々に語り広めなさい。そのためにこの後、様々な困難や苦難が待っているけれども、私に結ばれたあなた達を私は決して放っておかないから」ということ。

では、どうするのか。敵に捕らえられたイエス様がうまいこと逃げ出して弟子達の元に戻るのか。そうではない（十字架刑の翌々に復活して弟子達の前に現れますが）。聖書には何てあるかな。——そう、「弁護者」すなわち「真理の霊」をイエス様が父なる神様からお遣わしになるとある。いわゆる「聖霊」です。ここで、父なる神、子なるイエス・キリスト、聖霊が出そろう、キリスト教だけにある「三位一体」の考え、教理が現れました。——と、いきなり言われても分からないよね。要は、この三つは型は違うけれども同じ神様である——とだけ覚えて下さい。大人の私でもこれ以上の説明ができない。

ところで、「聖霊」もいきなり言われて、ピンと来るかしら。来ないよね。

皆さんが親御さんから携帯電話——いわゆる「キッズ携帯」を渡されたのは何歳のころかな。このサービスは2006年に始まったそうです。私が最初にこのニュースを聞いた時は「いくら日本の治安が年々悪くなっているとはいえ、そこまでするかねえ」なんて思いましたが、かれこれ14年たった今では、小学生でも携帯電話、いや、スマートフォンを持っているのが珍しくないもんね。

それで、何が言いたいのか。つまり、このキッズ携帯が聖書でいう「聖霊」に当たるって事。もちろん、親御さんが「イエス様」に当たる。父なる神様はおじいさんおばあさん…かな。核家族の人はごめんなさい。あくまで無理やりな例えなので。ともあれ、離れた所に在っても、互いの声が聞けて安心できるのは電話も聖霊も同じだ。

ただ、一番の違いは、聖霊は人間のいわゆる五感では分からない。目に見えず、耳で聞こえず、手で触れず、味も香りも無い。ただ信仰で感じるだけ。でも、どうやって？

答えは、神様の御言葉に触れる、つまり、聖書を読むこと。ただし、それには条件がある。何でしょうか。ヒントは、皆さんの中に、まだの人と、すでにした人がいる。

はい、受洗と信仰告白です。これが、神様とのキッズ携帯サービスの契約です。通話料無料でいつでも、どこでも、一生使えます。——そう、聖霊に結ばれて、時間や場所を問わず、救いの約束がいつも私達にもたらされている。そのことを今朝は覚えて下さい。